

牧野植物園の魅力・価値の最大化を進め、幅広い層の多くの方々が訪れる、より一層魅力にあふれた総合植物園を目指す。

◎市民の誇り「シビックプライド」の拠点

- ・多くの家族連れ、子どもたち、若者などで賑わい、世界中の人々に愛される憩いの場

◎知の拠点

- ・内知と外知が響き合う研究の拠点
- ・未知の価値を創出し、世界に発信する研究型植物園

◎宝の人材を育成する拠点

- ・子どもたちが自然に親しみ、探究心を育む教育の場
- ・第二、第三の牧野博士を育む世界唯一の植物園

取り組みの背景

- ・入園者数は平成20年度の年間20万人をピークに減少傾向。（H27：14.4万人）
- ・牧野植物園の持つ貴重なコレクションや立体的な地形などのポテンシャルを生かしてきていない。
- ・これらのポテンシャルを最大限に引き出し、「世界に誇れる総合植物園」となるよう磨き上げが必要。
- ・このため、8月に有識者や地元の代表者などで構成する検討委員会を設置し、磨き上げ構想の検討を開始。

取り組みの方向性

- 観光振興への貢献（牧野植物園のお宝の公開、五台山の一体的な振興等）
- 研究・産業振興への貢献（植物の有用成分の分析の加速化等）
- 教育への貢献（第二、第三の牧野博士の育成等）

ポイント1 家族連れや子どもたち、国内外の観光客で賑わう魅力のゾーンをH30秋にオープン！【予算額：56,798千円】・造成工事にかかる測量設計委託料他

NEW（仮称）ファミリー園

◎H30年秋オープン予定

※イメージ図

- ・子どもから大人まで植物に囲まれて自由に過ごすことができる、五台山からの美しい眺望が見渡せる憩いの広場。

◎期待される効果

- ・家族（子育て世代）や若者の来園者増 ・遠足・修学旅行の増
- ・野外ステージ（500人収容）イベントによる来園者増
- ・観光客の増（四季折々の多彩なフラワーイベントの開催）



NEW（仮称）スタディ園

◎H30年秋オープン予定

※イメージ図

- ・子どもから大人までが植物と触れ合いながら学んで遊べる広場
- ・葉をちぎったり、臭いを嗅いだり植物に自由に触れる体験ゾーン
- ・植物の有用性を学ぶゾーン（有用樹木、お茶、ハーブ、牧野野菜など）

◎期待される効果

- ・遠足・修学旅行の増 ・自らが考え学ぶ子どもたちの増
- ・観光客の増（ターゲットに合わせた体験学習コースの造成等）



ポイント2 既存の園地を磨き上げ、これまで知らなかった、見たことのなかった牧野植物園の魅力や価値を国内外にアピール！

NEW夜の植物園

◎H30年春オープン予定

- ・幻想的な植物園の開園期間の拡大
- ※温室及び南園の常設照明
- ・宿泊する観光客の誘客

【予算額：26,659千円】

- ・測量設計委託料

NEWプロモーションの支援

◎H29年秋から

- ・磨き上げへの助言（イベント、企画展及びオリジナル商品の磨き上げ等）
- ・県外及び国外を中心とした誘客プロモーション戦略の策定

【予算額：13,000千円】

- ・事業戦略策定支援業務委託料

NEW園内ガイド養成

◎H30年春スタート予定

- ・牧野植物園の魅力や価値をより丁寧に、より感動的に伝えるため、園内ガイドを定期開催するなど、おもてなしを充実

【予算額：5,544千円】

- ・園内ガイド2名の賃金・活動費他

拡充 牧野植物園のお宝の公開等

■志国高知幕末維新博に関連した展示

- 牧野博士が残した幕末から明治にかけての貴重な書籍や植物学資料などを厳選して紹介。

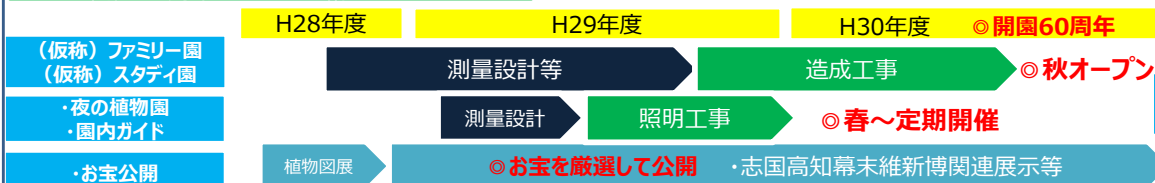
■時空を超えて本物に出会える新企画

- 牧野文庫や標本庫にあるお宝を順次展示・紹介
- ・牧野富太郎博士の植物図、植物標本の価値が体感できる展示や解説など

■幅広い層へのアピール

- ファミリー層
 - ・子どもから大人までが牧野博士ゆかりの植物や見所を楽しく学ぶことのできる春のスタンプラリー（第2弾）を実施
- 国内外の観光客
 - ・旅行商品への組み込み「牧野植物園で一日過ごす」等
 - ・クルーズ船乗客へのPRチラシ配布

●開園60周年に向けた整備スケジュール



- ◎世界に誇れる総合植物園へ大きく前進
 - ・さらなる前進に向けて引き続き検討
 - ・牧野植物園のポテンシャルを開花させる
 - ・幅広い層の多くの方々の心をつかむ
 - ・世界中の人が「一度は訪れたい植物園」へ
- ・お宝の公開の拡大
- ・オープンラボラトリーなど研究部門の充実
- ・植物の神秘に迫る仕組みづくり